

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成25年10月10日
【四半期会計期間】	第40期第2四半期（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社サンデー
【英訳名】	SUNDAY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川村 暢朗
【本店の所在の場所】	青森県八戸市根城六丁目22番10号
【電話番号】	0178（47）8511
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 成澤 真一
【最寄りの連絡場所】	青森県八戸市根城六丁目22番10号
【電話番号】	0178（47）8511
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 成澤 真一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第2四半期 連結累計期間	第40期 第2四半期 連結累計期間	第39期
会計期間	自平成24年 2月21日 至平成24年 8月20日	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成24年 2月21日 至平成25年 2月28日
売上高(千円)	23,941,148	24,366,209	47,064,385
経常利益(千円)	695,222	803,266	1,183,591
四半期(当期)純利益(千円)	321,764	486,133	973,522
四半期包括利益又は包括利益(千円)	322,842	483,910	980,765
純資産額(千円)	7,754,567	8,742,687	8,412,471
総資産額(千円)	28,495,500	29,349,064	27,657,915
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	29.91	45.18	90.48
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	45.15	-
自己資本比率(%)	27.2	29.8	30.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,034,315	2,214,434	1,563,746
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	349,274	237,663	472,827
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	511,004	1,071,711	1,387,378
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,208,712	1,643,276	738,216

回次	第39期 第2四半期 連結会計期間	第40期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 5月21日 至平成24年 8月20日	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	25.33	34.12

- (注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。
2. 第39期第2四半期連結累計期間及び第39期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 第39期は、決算期変更に伴い12ヶ月と8日(平成24年2月21日から平成25年2月28日まで)の変則決算であり、通期業績は12ヶ月と8日間の数値となっております。
4. 第39期第2四半期連結累計期間は、平成24年2月21日から平成24年8月20日でありましたが、前期の決算期変更に伴い第40期第2四半期連結累計期間は平成25年3月1日から平成25年8月31日までとなっております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（2013年3月1日～2013年8月31日）における東北地域の経済は、東日本大震災の復興需要本格化や政府のデフレ脱却に向けた財政・金融政策への期待感から、一部業種については回復の兆しが見られたものの、一方で円安、原油高と原材料価格の上昇、電気料金引き上げの決定などにより、依然として先行きに対する不透明な状況が続いています。小売業界におきましては、高付加価値の一部商品が好調になるなど、消費マインドが改善傾向にある中、同業他社による積極的な出店や価格競争に加え、業種業態を超えた競争も激化し、更に厳しい経営環境が続いております。震災以降当社グループは、地域におけるインフラとしての役割を果たしてまいりましたが、第1四半期は大雪の影響や記録的な低温による農作業や家庭におけるガーデニングの遅れに伴い、春先の主力部門である園芸、苗物、レジャー等を中心とした商材が影響を受けました。第2四半期は、6月度後半の気温上昇に伴い、すだれ・網戸・エアコン・殺虫剤等の夏物が早い動きを示しましたが、東北地方における7月度の天候不順および遅い梅雨明けや局地的豪雨が影響し、一時落ち込みました。しかしながら8月度に入り本格的な夏の到来とともに、塗料、除草関連商品や暑さ対策商品、アウトドア用品、花火など夏物およびお盆商品、ギフト、リカーを中心に盛り返しました。

このような経営環境の下、ホームセンターらしい商材の強化ならびにお客さまがお買い物しやすい売場への転換を目的として、㈱サンデーにおいて水沢店、水沢佐倉河店、むつ苫生店、むつ中央店、青森虹ヶ丘店、盛岡店の計6店舗の活性化を実施しております。なお、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は、㈱サンデーのホームセンター計45店舗、イオンスーパーセンター㈱へのコンセッション入り参画15店舗、子会社の㈱ジョイ19店舗で合計79店舗となっております。

営業面では、お客さまの行動や嗜好の変化に合わせた品揃えの見直しやお値打ちな価格提案、サンデーらしさを打ち出した自社開発商品の強化、イオンのブランド「トップバリュ」商品の拡販、お盆期間を中心とした除雪機や大型暖房の早期予約販売およびリカーの重点的な販促、ウォーキングシューズ・長期保存パン等の新カテゴリー導入を実施しました。また、早朝7時開店は工事関係者・農家の方々・シニアの方々をはじめ通勤前のお客さまからも引き続きご好評いただいております。お客さまの利便性を高める各種カードの取り組みとして、収穫払いに対応したクレジットカード「アグリッシュカード」、ポイントカード「マイカード」、法人向け掛売りに対応した「法人カード」のホルダー獲得を行い、それぞれ会員数を伸ばしてまいりました。なお、イオングループの電子マネー「WAON」は、㈱サンデーのホームセンター全45店舗への導入を4月に完了しました。さらに7月には、イオン銀行のATMを㈱サンデー八戸根城店、青森店、青森虹ヶ丘店の計3店舗に導入し、サービスの向上を図りました。また、クレジットカードの「イオンサンデーカード」は、金利手数料無料により物置などの高額商品購入に寄与しました。

社会貢献活動につきましては、毎月11日のクリーン&グリーン活動、植樹活動、各種募金活動、環境省が呼びかけるCO2削減「ライトダウンキャンペーン」などに取り組んでおります。また、お客さまに安心・安全にお買い物していただくため、東北のホームセンターで初めて「AED（自動体外式除細動器）」を㈱サンデーのホームセンター全45店舗へ設置すると共に、普通救命講習会を定期的開催し、従業員の救命技術向上に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の連結売上高は243億66百万円（前年同期比4億25百万円の増）、連結営業利益は8億4百万円（前年同期比93百万円の増）、連結経常利益は8億3百万円（前年同期比1億8百万円の増）、連結四半期純利益は、4億86百万円と前年同期から1億64百万円増加し、増収増益を達成することができました。なお、前第2四半期連結累計期間は、2012年2月21日から2012年8月20日でありましたが、前期の決算期変更に伴い当第2四半期連結累計期間は、2013年3月1日から2013年8月31日までとなっております。カッコ内前年同期比は参考値として記載しております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して16億91百万円増加し293億49百万円となりました。これは主に、お盆商戦による在庫（商品及び製品）の増加3億12百万円、現金及び預金の増加9億5百万円、受取手形及び売掛金の増加1億99百万円、新店工事による建設仮勘定の増加5億33百万円などによるものであります。

負債については前連結会計年度末に対して13億60百万円増加し206億6百万円となりました。これは主に、お盆商戦による仕入れ増および期末日が金融機関の休日による支払手形及び買掛金の増加21億14百万円、未払法人税等の減少1億87百万円、短期借入金の減少9億80百万円、長期借入金の増加1億70百万円、新店工事による設備関係支払手形の増加1億70百万円などによるものであります。

純資産については前連結会計年度末に対して3億30百万円増加し87億42百万円となりました。これは主に、四半期純利益4億86百万円の計上や、配当金の支払1億61百万円などによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末残高に比べ9億5百万円増加し、16億43百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は22億14百万円(前年同期比114.1%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7億94百万円(前年同期比20.8%増)に加え、減価償却費3億61百万円(前年同期比0.9%減)、たな卸資産の増加額3億48百万円(前年同期は58百万円の減少)、仕入債務の増加額21億14百万円(前年同期比430.1%増、期末日が金融機関の休日による未決済手形4億95百万円を含む)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2億37百万円(前年同期比32.0%減)となりました。これは主に改装などに伴う有形固定資産の取得による支出2億85百万円(前年同期比24.9%減)、無形固定資産の取得による支出16百万円(前年同期比77.3%減)、貸付金の回収による収入72百万円(前年同期比14.7%減)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は10億71百万円(前年同期比109.7%増)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出17億30百万円(前年同期比72.8%減)、短期借入金の純減額9億80百万円(前年同期は純増額15億50百万円)、長期借入金の借入による収入18億円(前年同期比59.1%減)等によるものであり、借入金は前年同期に対して17億87百万円減少いたしました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設は下記のとおりであります。なお、当社グループはホームセンター事業の単一セグメントであるため、セグメントの名称に関する記載を省略しております。

会社名	事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定		予定売 場面積 (㎡)
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
(株)サンデー	大東店 (岩手県一関市)	新設 (土地貸借) (建物所有)	184,697	61,612	自己資金及 び借入金	平成25年6月	平成25年10月	992
(株)サンデー	本吉店 (宮城県気仙沼市)	新設 (土地貸借) (建物所有)	189,828	63,826	同上	平成25年6月	平成25年11月	992
(株)サンデー	乙供店 (青森県上北郡 東北町)	新設 (土地貸借) (建物所有)	178,222	3,838	同上	平成25年7月	平成25年11月	992

(注) 1. 投資予定金額については、差入保証金が含まれております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,640,000
計	20,640,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,764,700	10,764,700	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,764,700	10,764,700	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	10,764	-	3,240,218	-	3,254,597

(6) 【大株主の状況】

平成25年 8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬 1 - 5 - 1	8,288	76.99
株式会社みちのく銀行	青森県青森市勝田 1 - 3 - 1	133	1.23
サンデー従業員持株会	青森県八戸市根城 6 - 22 - 10	94	0.88
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川 2 - 27 - 2	79	0.74
株式会社北日本銀行	岩手県盛岡市中央通 1 - 6 - 7	74	0.68
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲 1 - 2 - 1	66	0.61
株式会社岩手銀行	岩手県盛岡市中央通 1 - 2 - 3	53	0.49
株式会社七十七銀行	宮城県仙台市青葉区中央 3 - 3 - 20	53	0.49
株式会社秋田銀行	秋田県秋田市山王 3 - 2 - 1	53	0.49
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲 2 丁目10 - 17	51	0.47
計	-	8,948	83.12

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,754,200	107,542	-
単元未満株式	普通株式 5,200	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,764,700	-	-
総株主の議決権	-	107,542	-

(注)1. 上記「完全議決権株式(その他)」には証券保管振替機構名義の株式が500株(議決権5個)含まれております。

2. 上記「単元未満株式」には当社所有の自己株式33株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社 サンデー	青森県八戸市 根城六丁目22番10号	5,300	-	5,300	0.04
計	-	5,300	-	5,300	0.04

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	843,216	1,748,276
受取手形及び売掛金	294,852	494,803
商品及び製品	7,759,580	8,072,138
原材料及び貯蔵品	71,422	100,245
繰延税金資産	286,017	255,777
未収入金	169,668	206,381
その他	226,597	222,162
流動資産合計	9,651,354	11,099,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,232,678	6,005,911
機械装置及び運搬具(純額)	9,306	15,445
土地	8,498,525	8,498,525
リース資産(純額)	46,218	42,819
建設仮勘定	20,514	553,530
その他(純額)	389,562	391,323
有形固定資産合計	15,196,805	15,507,555
無形固定資産		
ソフトウェア	96,355	97,358
その他	27,902	27,629
無形固定資産合計	124,257	124,987
投資その他の資産		
投資有価証券	89,969	84,992
長期貸付金	637,240	568,654
長期前払費用	240,252	243,500
差入保証金	1,227,599	1,211,757
繰延税金資産	455,679	468,730
その他	62,249	66,281
貸倒引当金	27,491	27,181
投資その他の資産合計	2,685,497	2,616,734
固定資産合計	18,006,560	18,249,277
資産合計	27,657,915	29,349,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,754,897	9,868,914
短期借入金	2,880,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,458,616	1,357,316
リース債務	15,681	16,453
未払金	689,176	743,774
未払法人税等	503,341	315,764
賞与引当金	314,621	406,178
役員業績報酬引当金	17,860	14,894
ポイント引当金	177,685	174,795
店舗閉鎖損失引当金	26,132	14,535
リース資産減損勘定	18,195	16,549
設備関係支払手形	-	170,385
その他	717,555	808,010
流動負債合計	14,573,763	15,807,572
固定負債		
長期借入金	3,497,036	3,667,528
リース債務	31,162	26,851
退職給付引当金	413,901	392,737
債務保証損失引当金	51,000	49,113
リース資産減損勘定	12,875	5,006
資産除去債務	422,294	426,513
その他	243,409	231,054
固定負債合計	4,671,680	4,798,804
負債合計	19,245,444	20,606,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240,218	3,240,218
資本剰余金	3,254,597	3,254,597
利益剰余金	1,920,357	2,245,098
自己株式	3,904	3,956
株主資本合計	8,411,268	8,735,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,202	1,020
その他の包括利益累計額合計	1,202	1,020
新株予約権	-	7,750
純資産合計	8,412,471	8,742,687
負債純資産合計	27,657,915	29,349,064

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	23,941,148	24,366,209
売上原価	16,866,285	17,225,649
売上総利益	7,074,863	7,140,560
販売費及び一般管理費	6,363,582	6,336,203
営業利益	711,281	804,356
営業外収益		
受取利息	4,804	3,692
受取地代家賃	38,371	34,684
受取手数料	5,910	4,709
その他	13,972	7,897
営業外収益合計	63,059	50,983
営業外費用		
支払利息	58,030	32,676
賃貸費用	14,516	14,422
その他	6,570	4,976
営業外費用合計	79,118	52,074
経常利益	695,222	803,266
特別利益		
受取保険金	-	7,556
特別利益合計	-	7,556
特別損失		
固定資産売却損	4,381	-
固定資産除却損	23,713	6,070
災害による損失	-	9,941
リース解約損	9,172	-
特別損失合計	37,267	16,012
税金等調整前四半期純利益	657,955	794,810
法人税、住民税及び事業税	166,565	290,935
法人税等調整額	169,625	17,742
法人税等合計	336,190	308,677
少数株主損益調整前四半期純利益	321,764	486,133
四半期純利益	321,764	486,133

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	321,764	486,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,078	2,223
その他の包括利益合計	1,078	2,223
四半期包括利益	322,842	483,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,842	483,910

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	657,955	794,810
減価償却費	364,806	361,630
災害損失	-	9,941
受取保険金	-	7,556
リース解約損	9,172	-
のれん償却額	17,147	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	176	310
賞与引当金の増減額(は減少)	51,281	91,557
役員業績報酬引当金の増減額(は減少)	87	2,965
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	1,814	1,886
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,127	21,164
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	17,281	-
ポイント引当金の増減額(は減少)	3,186	2,889
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	12,164	11,597
固定資産除却損	23,713	6,070
受取利息及び受取配当金	4,804	5,721
支払利息	58,030	32,676
固定資産売却損益(は益)	4,381	-
売上債権の増減額(は増加)	78,052	199,951
たな卸資産の増減額(は増加)	58,980	348,937
仕入債務の増減額(は減少)	398,809	2,114,016
その他	254,530	197,357
小計	1,160,862	2,610,364
利息及び配当金の受取額	2,445	3,562
利息の支払額	73,054	31,397
補助金の受取額	-	40,884
災害損失の支払額	-	2,280
リース契約解除に伴う支払額	7,989	-
法人税等の支払額	47,948	406,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,034,315	2,214,434

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	105,000	105,000
定期預金の払戻による収入	115,000	105,000
有形固定資産の取得による支出	380,118	285,454
有形固定資産の除却による支出	13,587	1,861
無形固定資産の取得による支出	73,228	16,648
投資有価証券の売却による収入	-	2,200
貸付けによる支出	1,010	1,000
貸付金の回収による収入	84,618	72,219
差入保証金の差入による支出	5,450	5,293
差入保証金の回収による収入	34,837	20,904
その他	5,336	22,729
投資活動によるキャッシュ・フロー	349,274	237,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,550,000	980,000
長期借入れによる収入	4,400,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	6,353,676	1,730,808
自己株式の取得による支出	45	52
配当金の支払額	107,282	160,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	511,004	1,071,711
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	174,035	905,060
現金及び現金同等物の期首残高	1,034,677	738,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,208,712	1,643,276

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
支払手形	- 千円	495,205千円
設備関係支払手形	-	104,811

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な科目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
給料手当	2,156,103千円	2,123,811千円
賞与引当金繰入額	259,911	390,411
役員業績報酬引当金繰入額	15,632	14,894
退職給付費用	46,137	49,376
役員退職慰労引当金繰入額	1,718	-
賃借料	846,352	800,465

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	1,313,712千円	1,748,276千円
預金期間が3ヶ月を超える定期預金	105,000	105,000
現金及び現金同等物	1,208,712	1,643,276

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原 資
平成24年5月16日 定時株主総会	普通株式	107,595	10	平成24年2月20日	平成24年5月17日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原 資
平成25年4月9日 取締役会	普通株式	161,391	15	平成25年2月28日	平成25年5月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)

当社グループの報告セグメントは、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

当社グループの報告セグメントは、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	29円91銭	45円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	321,764	486,133
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	321,764	486,133
普通株式の期中平均株式数(株)	10,759,534	10,759,393
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-円-銭	45円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	7,666
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月8日

株式会社 サンデー
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷藤 雅俊 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンデーの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンデー及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。